

福井宇部生コン 県内初80N

高強度コンクリート大臣認定

超高層建築物も使用可

福井宇部生コンクリート（本社福井市上森田5丁目、南谷哲彦社長）が、強度80Nのコンクリート製造の国土交通大臣の認定を得た。同社によると県内初で、高さ100m以上の超高層建築物にも使用できる高強度。輸送時間が限られているコンクリートは地域ごとに工場が必要で、県内にも80Nのコンクリートが供給可能になった。（岩崎大樹）



80Nの高強度コンクリート製造の大臣認定を受けた福井宇部生コンクリート
福井工場＝福井市上森田5丁目

設計自由度高く

認定を受けたのは本社に隣接する福井工場。同社は高強度コンクリートの製造で差別化を図っており、60Nのコンクリートについても、2009年に県内で初めて大臣認定を得た。80Nの開発研究は1年ほど前に着手。コンクリートの材料である砂利などの骨材、水、セメントの配合割合などを試行錯誤し、強度試験や施工性の確認を繰り返し、建築物に高強度コンクリートを使うことで高層化できるほか、柱やはり

くできたりと設計の自由度が高まるという。コンクリートは、工場から施工現場まで輸送できる時間が最長1時間半という、各地に工場が必要となる。

福井工場が80Nの認定を受けたことで、県内の建築物に高強度コンクリートを
使用でき、同社はJR福井駅周辺で進む再開発で活用されることも見据えている。
石隅久裕福井工場長は「骨材の水分量など変化する材料の状態を見極めながら、高強度コンクリートを安定供給できるよう努めた」と話している。